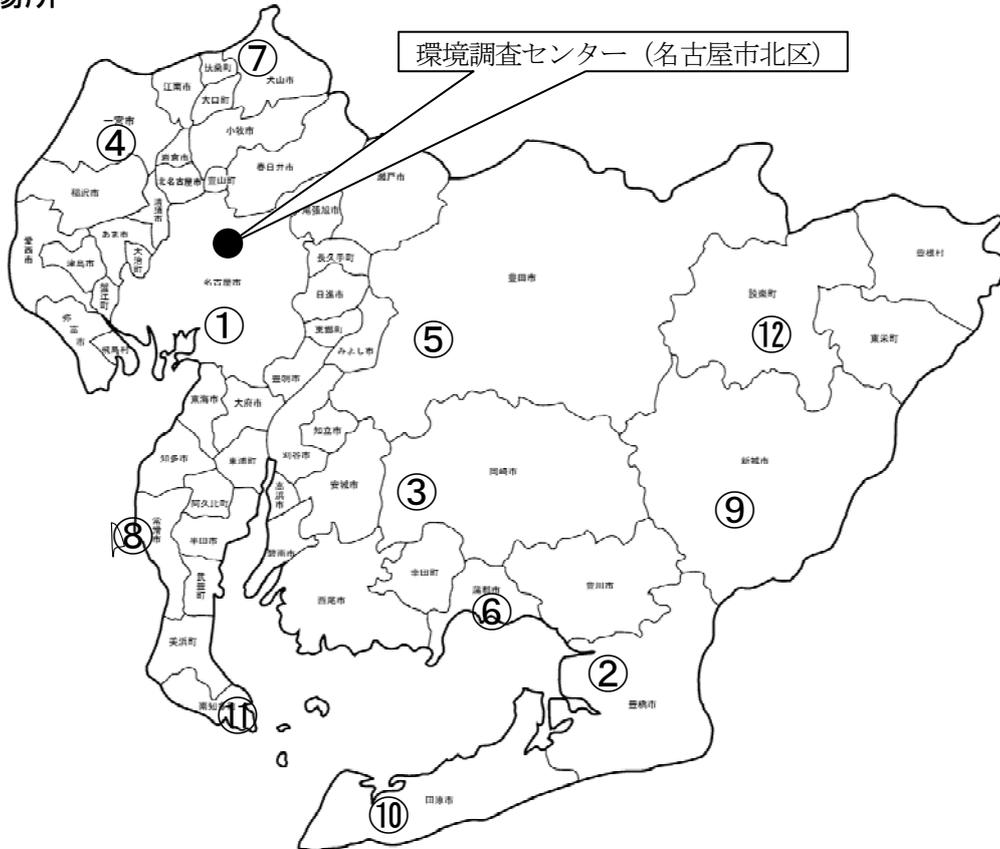


(参考)

## 1 測定場所



## 2 原発事故前後での環境放射能測定結果の比較

【測定場所：環境調査センター（名古屋市北区）】

(1) モニタリングポスト（24時間測定、地上34m）（マイクロヘルム/時）

測定期間	測定値
原発事故以前 (平成17年度～21年度)	0.035～0.074
原発事故後 (平成23年3月12日～6月28日)	0.038～0.052 (平均 0.040)

(2) サーベイメータ（地上1m）（マイクロヘルム/時）

測定期間	測定値
原発事故以前※ (平成16年度～20年度)	0.057～0.074
原発事故後 (平成23年6月13日～6月28日)	0.062～0.069 (平均 0.065)

※サーベイメータによる測定は平成21年度以降実施していないため、20年度から過去5年間の値を記載。

### 3 用語の解説

#### サーベイメータ

小型で可搬型の放射線測定器（シンチレーションサーベイメータ）で、ガンマ線を定量的に測定することができる。



### 4 文部科学省からの依頼の概要（平成23年6月21日）

各都道府県内の10市町村を目安に、可搬型サーベイメータを用いて、地上1mの高さの放射線量を測定する。

測定場所の選択にあたっては、①県庁所在地、②人口の多い市町村、③観光地等の人が集まる市町村、④山裾などを参考にする。